

目次

年頭のご挨拶 (神藤 宏) .. 1
研究の成果	キヌサヤエンドウ育成系統「SM-03」の特性 一夏まき年内どり作型一..... (小谷泰之) .. 2 日中の温度および日照条件が実エンドウの子実肥大 に及ぼす影響 .. (小谷真主) .. 3
トピックス	キイジョウロウホトトギスは今 .. (宮本芳城) .. 4



キヌサヤエンドウ「SM-03」試験風景



「SM-03」と「美笹」の莢 (本文2ページ関連)

年頭のご挨拶

農業試験場暖地園芸センター所長 神藤 宏

明けましておめでとうございます。

常日頃から、暖地園芸センターの試験研究推進にご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当センターでは、当地域の立地条件を活かした野菜や花きのオリジナル品種の育成と特産品目の生産性の向上をめざした研究に前向きに取り組んで参ります。

所の研究方針に基づき、それぞれの目標を設定して、生産現場でどのような技術的課題があり、それを解決するための方策は何なのか、常に産地に目を向けた研究を進めるように、全職員に意識づけをして参ります。

花き研究では、スターチスの開花遅延やトルコギキョウの早期抽台を抑制するための対策技術開発、スターチスやシュッコンカスミ

ソウに対する光応答の解明等の研究にも取り組めます。

さらに、現在品種登録に向け出願公表中の紫系スターチス2品種について種苗の低コスト化とその品種の普及をめざします。

野菜研究では、実エンドウの早期枯れ上がり対策技術や着果安定技術の開発、ミニトマトの裂果抑止技術等にも取り組めます。

今後も当センターは、地域に根ざした基礎的な研究に加え、地域を先導する成果を継続的に発信できるように、職員の資質向上を図りながら、その役割を着実に果たして参ります。

本年も、皆様のより一層のご支援とご協力の程よろしく申し上げます。